

AGENDA

淡路夢舞台国際会議場ニューズレター

2010

秋 号

VOL.42

平成22年10月発行
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
兵庫県淡路市夢舞台1番地
電話 (0799) 74-1020
FAX (0799) 74-1021
<http://www.yumebutai.org>



コスモスの
花咲きなひ
立もどり
虚子



実りの秋
芸術の秋

豊かな環境の
夢舞台国際会議場で
実りある会議を

写真上：コスモスと田圃

写真下：天日干しの稲
(洲本市)

撮影：松林 真弘

2010年10月～2011年7月開催予定の主な会議一覧	
会 議 名	主なお問い合わせ先
10月 アジア青年建築交流会議 iCeMSリトリート 2010秋こころづくり絵画コンクール in 淡路夢舞台	財団法人大阪府国際交流財団 京都大学 物質・細胞統合システム拠点 こころづくり絵画教室 in 淡路夢舞台実行委員会
11月 グローバルCOEプログラム 「生命原理の解明を基とする医学研究教育拠点」 奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科 博士論文中間審査会	京都大学 G-COE 奈良先端科学技術大学院大学
VBL異分野融合研究会2010 関西総合リハビリテーション専門学校開学10周年記念式典(仮称)	大阪大学先端科学イノベーションセンター 医療法人社団順心会 関西総合リハビリテーション専門学校
IPR Retreat 2010	大阪大学蛋白質研究所
12月 第7回伴一孝ドリーム講座 国立ソウル大学薬学大学校-徳島大学薬学部 学術交流協定締結20周年記念シンポジウム	TOSS淡路キツツキ 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
1月 第5回糖尿病療養看護セミナー 新学術領域研究「遺伝情報収納・発現・継承の時空間場」 国際シンポジウム	大阪糖尿病協会顧問医会 大阪大学大学院生命機能研究科
The 3rd meeting of the Japanese Society of Pulmonary Functional Imaging 5th International Workshop for Pulmonary Functional Imaging	同実行委員会
2月 順心会第5回研究交流会 第4回看護診断セミナー	医療法人社団順心会 関西看護医療大学
3月 ITあわじ会議	兵庫県、原総合知的通信システム基金
4月 京都光華女子大学 心理学科新入生研修 京都光華女子大学 キャリア形成学科新入生研修	京都光華女子大学心理学科 京都光華女子大学キャリア形成学科
5月 13th International TNF Conference Shikata Discussion 2011 (International Symposium on Electroanalytical Chemistry)	京都大学大学院医学研究科 京都大学大学院工学研究科
6月 第7回平成医療福祉グループ学術大会 第1回国際木版画会議2011	NPO法人平成医療福祉研究会 国際木版画会議2011委員会
7月 第34回日本骨・関節感染症学会 第3回次世代シグナル伝達医学グローバルCOE研究討論会 神戸大学 第5回膜生物学G-COEワークショップ 日本笑い学会 第18回総会・研究発表会 回路とシステムワークショップ	近畿大学医学部 神戸大学医学部 神戸大学バイオシグナル研究センター 日本笑い学会 同実行委員会

※上記は都合によりキャンセル・変更される場合があります。

グローバルCOEプログラム「生命原理の解明を基とする医学研究教育拠点」

平成22年11月5日(金)～6日(土)の2日間、淡路夢舞台国際会議場でKyoto University Global COE “Center for Frontier Medicine” International Symposium/Retreat2010(以下Retreat2010と省略)を開催します。Retreat2010は京都大学医学研究科グローバルCOEプログラム「生命原理の解明を基とする医学研究教育拠点」の事業の一環として行われる国際シンポジウムを兼ねた研究合宿で、約180名の参加者を予定しています。

本拠点の目的は、文部科学省の研究拠点形成費等補助金の支援のもと、生命原理を解明する基礎医学から、疾患の病因、病態を解析し、治療法を開発する臨床医学を一連の学問的営みとして俯瞰的に理解できる、独創的な若手研究者を養成することにあります。

今回のRetreatの特徴は、企画運営の主体が博士研究員、大学院生などの若手研究者であることです。

若手研究者の視点から、拠点を形成する「免疫・アレルギー」、「がん」、「老化・生活習慣病」、「脳・神経科学」、「再生医学・医療」の5研究領域において世界をリードする斬新な研究を進めている5名の国内外の著名な研究者による招待講演、拠点の若手研究者を中心とする研究ミーティング、さらに全ての若手研究者によるポスター発表を2日間で開催します。本Retreatは上記のプログラムを通じて大学院生をはじめとする若手研究者が最新の研究動向に触れる機会と最先端の研究者との意見交換を行う有意義な研究交流ができる場を提供します。自然に恵まれた淡路夢舞台国際会議場の素晴らしい環境の中、爽り多い集会になることを期待しています。

(拠点のホームページ <http://www.med.kyoto-u.ac.jp/GCOE/J/index.html>)

(昨年度の開催には、会議場・ホテルのスタッフのきめ細かい支援により円滑な運営ができ、本紙面を借りて拠点として感謝申し上げます。)



拠点リーダー
京都大学医学研究科教授

成宮 周

5-6 Nov. 2010

開催に寄せて

VBL異分野融合研究会2010

本研究会は、年に1回、全く異なった分野の研究者同士が集まり、自らのシーズおよびニーズを互いに持ち寄り議論することで新たな融合型研究を模索し、あわよくばベンチャーの起業に結びつけようというあまり他に例のない研究会です。大阪大学 先端科学イノベーションセンターベンチャービジネスラボラトリー部門(VBL部門)が主催し、今年は40名近い参加者と共に淡路夢舞台国際会議場で開かれる予定です。

本年度の研究会では各研究者のプレゼンテーションに加え、3人の講師をお招きし、「ベンチャー創出戦略」をテーマに講演をして頂くことになりました。これまで毎年1件ではありますが、この研究会を通じて共同研究が発足しているということから、さらに事業化を目指して頂こうと、ベンチャー企業であります、株式会社創晶、代表取締役社長の安達宏昭先生、フィンテックグローバルキャピタル合同会社、代表社員の橋本瑞彦先生にご講演を頂くことになりました。また、ベンチャービジネスを立ち上げるにあたって、VBLの役割について大阪大学 先端科学イノベーションセンターVBL部門教授、兼松泰男先生にご講演を頂くことになりました。

今年も活発な議論および交流を深めて頂き、この場が、自身の研究の発展にとどまらず、共同研究さらにはベンチャービジネスへと発展するための機会になることを期待しています。

国立ソウル大学薬学大学校-徳島大学薬学部学術交流協定締結20周年記念シンポジウム

この度、国立ソウル大学薬学大学校と徳島大学薬学部の学術交流協定締結20周年記念シンポジウムを淡路夢舞台国際会議場において2泊3日の日程で開催させて頂くことになりました。両学部の学術協定は平成2年に締結され、これまで、ソウル大、徳島大それぞれから2～3名の教員が相互に訪問し、薬学の諸分野に関する討論・講演会などを通じて交流を深めてきました。その間、協定締結10年を記念して、ソウル大学側のお世話により10周年記念シンポジウムが100名を超える参加者を迎え韓国済州島にて行われました。今回は、ソウル側からは教員、大学院生を含め60名程度、徳島側からは70名程度の参加が見込まれています。従来までは、主に教員間の相互訪問を基盤とする学術交流が行われてきましたが、今回を契機に交流の輪を大学院生まで広げようとしています。具体的には、口頭発表の機会を大学院生に与え、学生間の相互交流、英語能力の向上に努め、将来的には短期留学プログラム等の実施に結び付けたいと考えています。また、韓国は来年より日本と同様薬学教育体制が4年制から6年制に移行します。このため、韓国側への情報提供の意味合いも含め、教育体制についてのパネルディスカッションも企画しています。本会が、両国の薬学分野の人的交流の拡大さらには発展に繋がれることを期待しています。

21-22 Nov. 2010



大阪大学大学院 工学研究科
大阪大学 先端科学イノベーションセンター VBL 部門長教授

伊 東 一 良



大阪大学 先端科学イノベーションセンター VBL 部門特任講師

池 内 智 彦

開催を終えて

吸着分野の「オリンピック」-第10回国際吸着会議-

本会議は、三年に一度、世界三極を持ち回って開催される吸着分野の最大規模の国際会議ー吸着のオリンピックーです。世界的不況や円高ゆえに300名程度と少なめを見込んだ予想はみごとに外れ、33カ国から370名に上る参加者を迎え、発表数は、口頭163件、ポスター242件の計405件に上りました。夢舞台での開催にはギリギリの上限数であり、当初想定した発表会場の変更・増設や、Westin以外の宿の確保などの対応に奔走しましたが、夢舞台スタッフのご支援のおかげで準備万端整い、たいへんな盛会となりました。

本会議に特徴的なのは、日本開催時も、海外からの参加者が7割に上ることで、日本の参加者が、居ながらに世界中の研究者・技術者との交流を深められる場となりました。また、Openingでの淡路人形浄瑠璃に始まり、同伴者向けの茶道・華道・折り紙体験、Excursionでの鳴門渦潮クルーズと震災記念館、Banquetでの先斗町芸舞妓と阿波踊りまで連ねたSocial Eventsはあまねく好評で、特に阿波踊りでは出席者ほとんどがいちまき姿で踊ってくれた次第です。

多くの候補地の中から淡路島・夢舞台を会場に選んだ理由の一つは、参加者を「カンヅメ」にして会議に浸ってもらえる点ですが、充実した設備や文化施設も非常に好評でした。会議場の優れた設備とスタッフに感謝しつつ、三年後にボルチモアで開催される次のチェアマンが私に残した次の言葉を結びとしく思います。「私がこの会場をそのままボルチモアに持っていかけたらなあ。。。」



23-28 May 2010



京都大学工学研究科教授

宮 原 稔

6月～8月に開催された主な会議



第6回平成医療福祉グループ学術大会(6月)



第2回次世代シグナル伝達医学グローバルCOE研究討論会(7月)



第50回日本先天異常学会学術大会(7月)



膜生物学グローバルCOE第4回ワークショップ(7月)



CIE40(7月)



第10回日本広東経済促進会(8月)



グローバルCOEサマーキャンプ2010(8月)



CCM7(8月)

高垣抱月氏より水墨画寄贈

本年4月に奈良県在住の水墨画家・高垣抱月氏より、水墨画「怒濤」を寄贈いただきました。

高垣氏は、これまで国際アカデミー賞、世界文化賞、日本アートアカデミー賞など数々の賞を受け、万物の生命の根源である水、空気のけがれない美しさを大切にして、伝統のみに頼らない新しい描写技法のもとに、現在もご活躍されています。

6月15日には高垣抱月氏をお招きして、感謝状の贈呈式を行いました。この作品は1階エントランスの壁面に掲額していますので、会議の休憩時などにぜひご覧ください。



生産高日本一を誇る

淡路島の線香

❖ 線香づくりの歴史

淡路島の線香は、淡路市江井において、1850年(嘉永3年)に泉州堺より製法技術を導入して始まりました。この地で線香づくりが根付いた背景には、江井港が香料など原材料の搬入や製品輸送に便利な立地であったこと、また、気候が製造過程で乾燥を必要とする線香作りに非常に適していたことや、季節風の強い時期には出漁できないため必然的に家内工業として発達していったことなどが大きく影響しています。



写真提供:兵庫県線香協同組合

てんとう虫をモチーフにしたお香セット

❖ 日本の香りをリード

線香作りが始まって今年でちょうど160年。淡路島の香りは、守り続けた伝統の製法と厳しい品質管理、そしてお香職人たちの技と誇りによって、奥深い香りの世界を生みだしてきました。天然素材、天然香料にこだわった本物志向で、卓越した技術とアイデアをもって最高品質の線香を生産し、日本の香り文化をリードしています。

❖ 4月18日はお香の日

「日本書紀」によると、「推古天皇3年(595年)4月、淡路島に沈香が漂着」と記されています。大きな香木が淡路島に流れついたとき、島民がその木を燃やしたところよい香りが辺り一面に広がったので、これを朝廷に献上し、聖徳太子が観音像を作ったとされています。記述にもとづき「4月」を、また「香」の字を崩した「一十八日」を合わせて【お香の日】としています。

❖ 線香モザイク画でギネス記録達成!

淡路市夏祭りでは、特産の線香約4万本を並べてギネス記録に挑戦するイベントがありました。黄土・茶・緑など5色の線香を使って、6センチ四方のピースを色ごとに分類。一つのピースに線香約30本をのり付けし、訪れた人々が約1,300枚のピースをパズルのように張り付けて、巨大なモザイク画(2m×2.4m)を完成させました。ギネス・ワールド・レコーズ社の認定員が絵の大きさや完成度を基準に判定し、見事ギネス記録として認定されました。



奇跡の星の植物館

夢舞台ガーデンルネサンス2010

夢コレクション-いざ、ジャポニズム!! 夢舞台から世界へ-



秋の夢舞台にジャポニズム旋風が吹きます。「自然と人間の共生」をテーマとする植物館。古来より日本人が自然と共に暮らし、作りあげてきた「花文化」が今、欧米諸国で盆栽や仕立ての植物を通してその素晴らしさが江戸時代以後、再びブームを巻き起こしています。21世紀の循環型社会に適合した新たな「ジャポニズム」。日本人が自然と共に暮らす中で作りあげてきた浮世絵、調度品、伝統園芸など文化を通して「共生のライフスタイル」の素晴らしさを伝え続けてきた植物館が、この秋「夢舞台ガーデンルネサンス」として世界に向けて発信します。秋の里山を生態学的にかつ美しく再現した土壁緑化や身近にある植物を用いて、植物の「美しさ」を土のない都市や庭のない住居で享受できるように考案した古典模様の「オーガニックバーティカルガーデン」、モダンな器やオブジェで演出された盆栽など、日本の伝統文化・工芸が新しいスタイルの花緑空間として登場します。

浮世絵ガーデン

1000㎡の空間全体をダイナミックに演出する竹のオブジェの立体緑化、伝統園芸菊、キキョウ、ダリアなど様々な秋の草花が描く華麗な浮世絵の世界。

オーガニックバーティカルガーデン

現代の地球環境を考慮して考えられた人間の五感と心に働きかける美しい垂直緑化のデザインと新しい日本の技術が生み出すコラボレーションをお楽しみください。

アルチザンフェスティバル 10/9(土)~11(月・祝)

世界的に活躍する淡路島出身の左官職人久住有生氏をはじめ、多方面のアルチザンたちと辻本智子プロデューサーのコラボレーションで作品を作りあげるパフォーマンス。素晴らしい作品が生み出される瞬間をお見逃しなく!

※各曜日の出演者、時間など詳細は奇跡の星の植物館までお問い合わせください。

淡路島国営明石海峡公園

秋の花の饗宴 秋桜・黄花秋桜・天竺牡丹

明石海峡公園では、17品種15万本の“秋桜(コスモス)”の他、黄・橙・朱色と言った秋らしい色あいの“黄花秋桜(キバナコスモス)”、大きな花輪と色鮮やかな花色で人気の“天竺牡丹(ダリア)”を中心に、様々な秋の花々の饗宴をお楽しみいただけます。



キバナコスモス



ダリア

交通アクセス



公共交通機関

▶ 運賃、時刻表等、詳細はHPをご覧ください。http://www.yumebutai.org

公共交通機関	バス110分(三宮で乗換)		
	関西国際空港	東浦IC	車10分
新神戸駅	バス90分	バス60分(三宮経由)	
JR三ノ宮駅	バス45分		
JR舞子駅	バス15分		
明石港	高速艇15分 フェリー20分	岩屋港	バス10分
徳島市内	バス95分(舞子で乗換)		

淡路夢舞台

ご利用料金(税込)

会議室名称	面積(m ²)	利用料金(円)		
		9時~12時	13時~17時	9時~17時
メインホール	580	90,000	120,000	209,000
イベントホール	481	45,000	60,000	104,000
アンフィシアター	275	45,000	60,000	105,000
レセプションホール	A	12,000	16,000	28,000
	B	44,000	58,000	101,000
会議室	311	179	15,000	20,000
	301	173	15,000	20,000
	405	91	8,000	11,000
茶室	A	90	18,000	24,000
	B	10	3,000	3,000

※他に会議室・討議室・控室等18室を4,000円(9~17時)からご用意しております。

あとかき

秋空高きさわやかな好季節になりました。例年になく暑かった今年の夏、35℃を超える記録的な猛暑日が続き、残暑も厳しかったですね。ようやく待ち焦がれた時季が訪れ、スポーツ・文化・味覚と、この短い秋を存分に満喫したいと思います。さて、今号でご紹介しているお線香。今、淡路市の主な観光施設では、9月17日から11月7日までの期間、特産の香りに親しんでいただこうと、お香をたいているところがあります。アロマ効果も高いお香で心休まるひと時をお楽しみいただき、淡路島の豊かな風土を感じていただければと思います。(川東)

